

# キャンパスの動物

## 哺乳類

キャンパスでもっとも目立つ哺乳類はエゾリスでしょう。特に朝と夕方、クルミやマツ類の実を探して食べている姿がよく見られます。同じ場所が夜になるとエゾモモンガの飛び回る林になります。ほかにもキタキツネや、冬になるとクロテンの足跡も時々見られます。



エゾリス



キタキツネ

## 鳥類

キャンパス内では様々な鳥が繁殖しています。建物の周辺で見られるのはシジュウカラやゴジュウカラなどのカラ類、アオジ、ベニマシコ、アカハラなどです。キツツキの仲間のアカゲラやコアカゲラもあります。ビオトープの池ではマガモ、カルガモが見られ、アオサギも来ます。



ゴジュウカラ



マガモ

## 昆虫

春はエゾハルゼミ、夏にはコエゾゼミやエゾチッチゼミなどが鳴きます。ビオトープの池では、夏にオオルリボシヤンマ、シオカラトンボ、ルリイトトンボなどが飛び交っています。夏の夜間には、照明灯にミヤマクワガタやコクワガタなどが誘引されてくるのを見ることができます。



エゾチッチゼミ



ルリイトトンボ

# キャンパスの植物

## 樹木

畜大の校章にもなっているカシワの木が、3号館の北側にあります。ハルニレの太い木を見たいなら柏稜池ビオトープの南です。シラカバやカラマツの並木も見事です。畜大から一歩外に出ると、農業高校のカシワの立派な林や売買川のヤナギ河畔林も見られます。



カシワ



ハルニレ

## 草本

ビオトープでは十勝の野生の草花を多く見ることができます。高さ1.5mほどの茎が1本だけという妙な形をしたフトイや、縦に並んだピンクの花が美しいエゾミソハギ、白い小さなほんぼりを沢山つけたドクゼリなどが代表的です。



エゾミソハギ



ドクゼリ

## きのこ

毎年秋に、シラカバの根元に赤い傘のベニテングタケが現れます。ほかにもベニタケ、フウセンタケ、イグチの仲間も多く発生します。これらの菌は樹木と共生して生活しています。また、弱った木の幹や切株からは、ナメコやエノキタケなどの木材を分解して生きる菌もたくさん発生しています。



エノキタケ



ベニテングタケ

帯広畜産大学

# キャンパス自然マップ



## 表紙の写真

上段左から、エゾリス・クサノオウ・セイヨウオオマルハナバチ・オニグルミ

中段左から、フトイ・エゾモモンガ・ミヤマクワガタ

下段左から、オオルリボシヤンマ・ベニテングタケ・アカゲラ

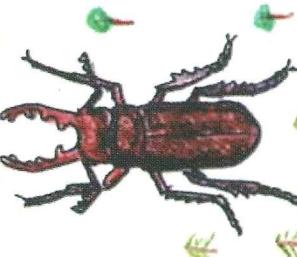
環境生態学ユニット

# 畜大自然マップ

畜大名物！一年中、大学内を駆け回る。  
帶広の厳しい冬もぱつちやり体型で乗り切ります。クルミとヨカマツの実が大好物！

誰もが一度は憧れる

ミヤマクワガタ



空飛ぶリス！！  
大学内で子育てしています。  
夜の大学も楽しいよ！

カラマツ林を好む北海道固有種  
エゾチツチゼミ

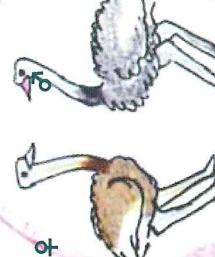


カラマツ  
紅葉する針葉樹。  
冬の樹氷も美しい。

園場

7月下旬～9月上旬、  
「チツチツチツチ…」  
と抑揚なしで長く鳴く。

ダチヨウ



至 十勝坊主

至 畜産フィールド  
科学センター

牛(ホルスタイン種)

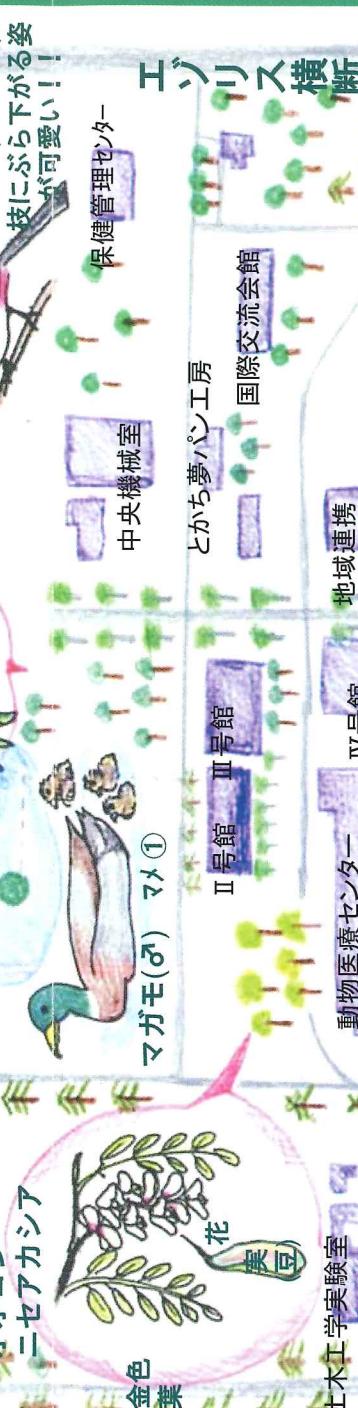


畜大牛乳  
低温殺菌もあるのだ。  
生協で販売中！飲んでね！

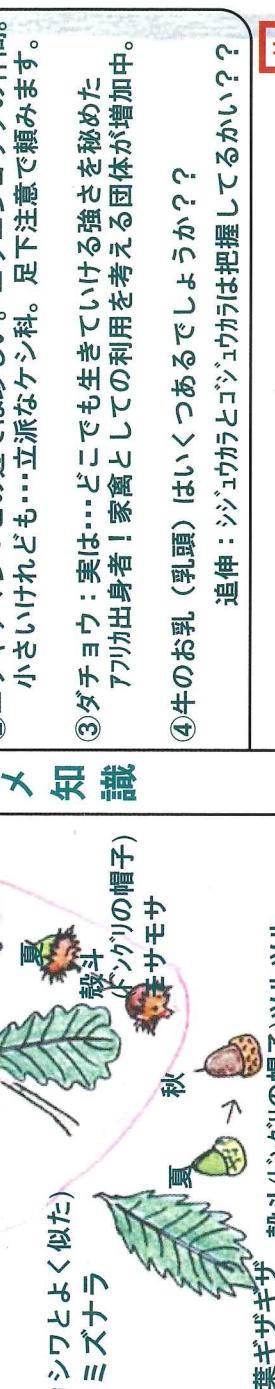
北門



正門



エゾリス横断！要注意！スピード落としそうぜ。



佳

①マガモ：♂の首の緑は美しい。ビオトープに6月、一家がいる。

カラスや芝刈りから一家を守る使命を受けるのは…誰！？

②エゾキケマン：この辺では珍しい。エゾエンゴサクの仲間。

③ダチヨウ：実は…どこでも生きていける強さを秘めたアフリカ出身者！家禽としての利用を考える団体が増加中。

④牛のお乳（乳頭）はいくつあるでしょうか？？

追伸：シユウカラとコジョウカラは把握しているかい？？

佳